

2年ぶり4回目 全国大会「2018年 信州総合文化祭」へ出場決定

12月17日(日) 立川 R I S U R Uホールで行われた東京都高等学校文化祭 郷土芸能部門中央大会発表会で「優良賞」を受賞し、来年8月に行われる全国大会へ2年ぶり、4度目の出場が決まりました。また、審査員特別賞として、加藤 遼(青梅吹上中出身)が、プロ和太鼓奏者 Ajo 先生より「Ajo 賞」を、高久 聖太(立川六中出身)が、伝統芸能プロデューサー小野木 豊昭 先生より「小野木賞」を受賞しました。

これも日頃より、サポートしていただいている保護者、応援や励ましをいただいている地域の皆様、OB・OG、学校関係者のお陰だと思えます。今後も、一打一打を大切に、和をもって、見てくれる人に感動を与える演奏を目指して精進していきたいと思えます。



受賞曲 「天翔青龍(あまかけるせいりゅう) 北原 永 作曲 藤井 克己 編曲」

昔、山に囲まれた小さな村では春を司る神・青龍の伝説が語り継がれていた。冬のある時、豪雪や雪崩などの雪害により、村はだんだんと壊れ始める。焦りや不安を募らせた村人は対立し、村はさらに荒れていく。その時、伝説の龍神・青龍が姿を現し力強く天を翔けめぐる。青龍の力が宿った村人は、心を一つにし荒れた村を復興させ、それと共に青龍は村に春を告げ去っていく。

全身全霊で打ち込む太鼓と凜とした笛の音で、皆様に大きな困難や試練に立ち向かう勇気と希望をもっていただけたら幸いです。